

溝小だより

<https://mizonobe-kahoku.edumap.jp/>

河北町立溝延小学校

学校通信 No.360

2023.8.31

発行：校長 小林 聡

学校教育目標：ふるさとだいすき かしくく つよく やさしく
～つながりの中で わたしたちが創る 楽しい学校～

つながりの中で 子どもたちが創る 楽しい2学期

今日から2学期が始まります。87日後には終業式をします。季節は冬です。自分はどんな風に成長しているか、想像してみましょう。君たちが「つながりの中で わたしたちが創る楽しい○○」に向かって成長するために、大事にしたいことを3つ話します。

1つ目は「なりたい自分をしっかり描くこと」です。この2学期87日間で「自分はこうなりたい」ということを、Aさんは「勉強がわかる自分になりたい」と決めました。その気持ちわかりますね。でも、これだけだと、どんな勉強をどんなふうにわかりたいのか、そのために何をするのがよくわからないですね。一方、Bさんはこんなふうに決めました。「ちょっと苦手な国語が好きな自分になりたいです。話の中身がわかるようになりたいので、少し長い文章や厚い本を読むことに毎日挑戦します。習った漢字を使って詳しく書くことと、先生や友達の話に『そうかそうか。』『えっ、どういうこと？』と考えながら聴くことをがんばります。」Bさんのように思い描くと、何がいいのでしょうか？努力することがはっきりしているので、目の前に苦手なことや面倒なことが表れても、ねばり強くやれるのです。

2つ目は「楽しい授業をしっかり描くこと」です。授業は先生とみんなで創るものですから、一人一人が目指す授業のイメージをぜひ話し合ってください。「なぜ？とか、どうするともっと良くなるか？等、いつも『？』をもって考え、仲間と協力して『？』を解決する授業」「それぞれの考えを理解し、聴き合いを大事にして、よりよいものを生み出す授業」…君たち一人一人のために毎時間の授業があつて、その主役はもちろん君たち一人一人ですから、楽しい授業を自分たちで創ることに、大いに挑戦してください。

そして、3つ目は「やるかやらないか」です。できるかできないかではありません。また、思っただけ、考えただけでは実現しません。87日は1日1日の積み重ね、やったことの積み重ねです。そして、今日は、どんなことを、どんな気持ちで、どのくらいやったのかをふり返ること、それは、不思議なくらい「明日も頑張るぞ！」というエネルギーになります。

溝延小学校の自慢は、君たちの成長です。「こんなにはりきって頑張っていますよ。」「こんなに成長してきましたよ。」と言えることが何よりの喜びです。

さあ、2学期も「つながりの中で わたしたちが創る 楽しい○○」に向かって成長していきましょう。

8月18日、2学期がスタートしました。始業式では、子ども達のさらなる成長を願って、上のような話をしました。

子どもは子ども同士のつながりの中で、よりよいものを求めて切磋琢磨し、試行錯誤をくり返しながら成長していくものだと思います。私たち職員も、常に教育活動を振り返り、次につなげる努力をしまいにいます。2学期も家庭と地域と学校が力を合わせて子ども達の成長を温かく見守り、力強く後押ししていけるよう、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

本校ホームページへ
こちらからどうぞ

